

見樹院ニュース

O T E R A NEWS
第48号 2008年9月10日発行

浄土宗 見樹院
住職 大河内秀人

〒112-0002
東京都文京区小石川3-4-14
TEL 03(3812)3711
FAX 03(3815)7951
Eメール: kenjuin@nam-mind.jp
Http://www.nam-mind.jp

秋の彼岸法要と檀信徒の集い

豊かな未来を築くために

太陽が真東から上がり真西に沈む彼岸の季節。人々は、自らのいのちの来し方行く末に思いを馳せ、祖先を偲ぶと共に、来世の幸せを願ってきました。その夕陽の先の西の彼方の極楽浄土は、先祖の住まうところであるとともに、いつかは私も阿弥陀如来によつてすくい取られる先の世界。そのイメージをしつかり持ち、行くべき道を迷うことなく進むよう精進する七

日間の修行期間が「お彼岸」です。八〇〇年前、法然上人が勧めた極楽浄土をめざして「南無阿弥陀仏」を称える生き方は、今なお私たちの信仰の拠り所となっていています。そしてその教えの重要なポイントは「時機相應」ということです。時代の苦しみや問題を、自身自身の問題として正面から向き合い、冷静な分析のもとに、時代に流されることなく、自分自身の信

見樹会総会 建築計画説明会

例年通り秋の彼岸法要に引き続き開催いたします。建築計画のご説明や意見交換などをしますので、ぜひご参加下さい。

9月23日(祝・秋分の日)
午後1時～3時

- 1時～ 彼岸会法要
- 1時半～ 見樹会総会
- ◇事業報告/決算/事業計画/予算
会則変更について/その他
- ◇建築計画説明会、質疑応答

なお、終了後、入居希望者、ご興味のある方には、より詳しいご案内をさせていただきます。

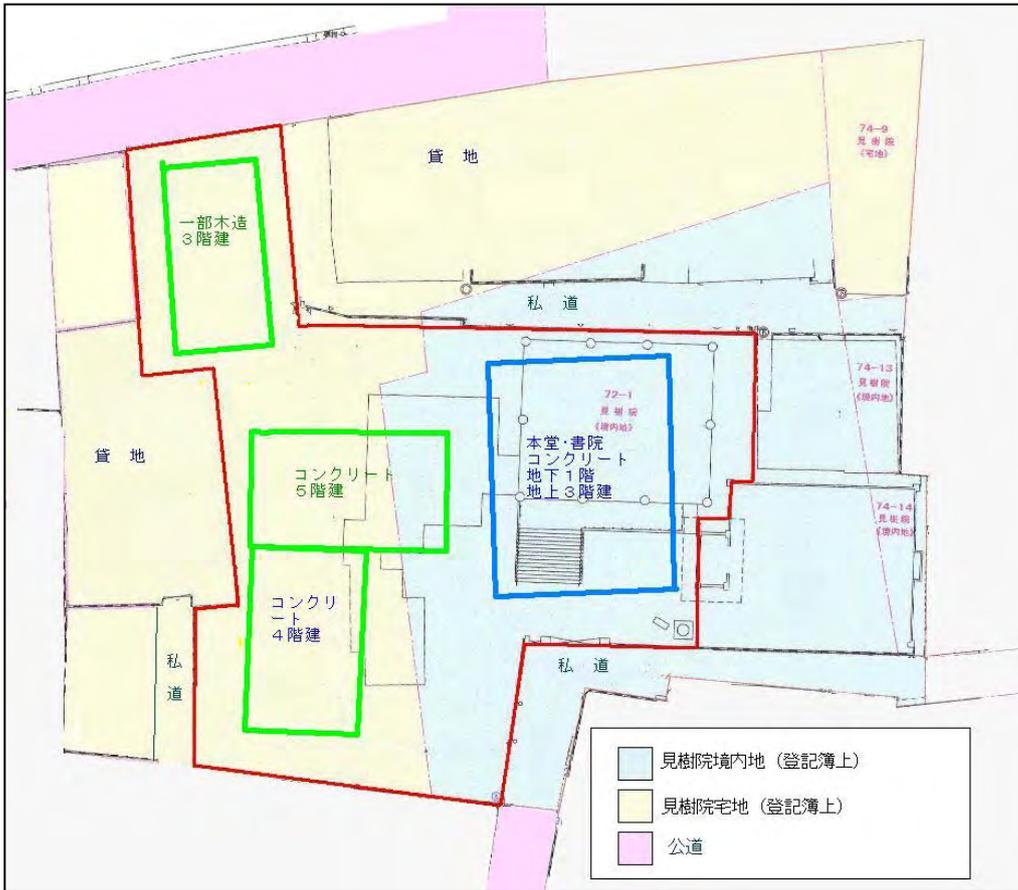
念に基づいて今できること、すべきことを見極めたのです。争い、貪(むさぼ)り、そして愚かな人間であるという自覚の中から、完全無欠の極楽浄土をめざし、念仏信仰を確立したのでした。

その精神を以つてしたとき、現代人として具体的にどのような現在と未来を考えていけばいいのでしょうか。

私たちの世界は、今、様々な問題に直面しています。地球温暖化をはじめとする環境問題は、人類のみならず多くの生命を取り返しのつかない危機に陥れています。そしてその原因をつくってきたのは、人間の営みに他なりません。

私たちの快適で便利で、ものが有り余るような生活。エネルギーを浪費し、次から次へと使い捨てていく生活に、何となく「マズいんじゃないか」と感じている人は多いのではないのでしょうか。

しかし、それでも周りがみんなそうやっているのだし、えらい政治家や学者たちもいて決めていることだから何とかなるのじゃないか、大企業がめざましい技術力を以つて、そのうち解決してくれる



現在の大きなプラン。300年耐用の天然・健康素材で、地球と未来を豊にする真の社会資本をめざします。青い部分が本堂・庫裏等。緑の3棟が分譲住宅になります。

はずだ。と、思っているかもしれない。

あるいは、どうせ自分ひとりはどうこうしても、始まらない、がんばったところで何も変わらないと、あきらめてしまっているかもしれない。

しかし、どんなに絶望的と感じ

られたとしても、それを乗り越えて変えていくことができる信じて、

冷静な状況認識の上にやるべきこと、できることを今、しっかりとやっつけていこうという意志が、法然上人の念仏の精神です。

今回の見樹院の計画は、いのちを尊び、未来を信じる人々のネッ

トワークで、地球と未来を豊にするプロジェクトです。

この計画は、単に見樹院の設備を新しくするということにとどまらず、今後大きく変化するであろう社会状況をも見据え、子々孫々の時代まで、見樹院が私たちの心の拠り所として継続・発展し、さらには家庭や地域、日本の文化を守り、国土や地球環境を守っていく事業です。そしてその実践がいのちを尊び、エネルギー需要を減らし、人間関係を豊かにし、あるべき平和な未来社会に続く実感を伴うものになるはずで

まず、百年の定期借地権の設定は、百年先の未来への責任を意識したものであるとともに、三百年以上の見樹院の伝統の上に新たな文化を築いていこうという心意気を共有するコミュニティへの期待でもあります。

シックハウスによる疾患や、アトピーや化学物質過敏症に配慮し、99.9%化学物質を排除した素材として、木材はすべて国産の無垢材のみを使用します。それは日本の森林とともに日本の伝統技法を保存再生する活動の一環です。

徹底的に健康で省エネのつくりは、長寿命でランニングコストが低く、価値の高い社会資本として蓄積されます。

寺というみんなの財産だからこそ、みんなの未来をより確か度安心なものにするものでなければ意味がありません。

私たちが、今の時代、この東京で暮らす生き方が、未来や世界と、こうしてつながっているという意識を持って、あらゆるつながりあるいのちの幸せと平和を願って生きていくことができれば、私たちすべてのいのちを祝福し、すくいとつてくださる阿弥陀如来のみこころを、芯から感じることができると確信します。

見樹院の檀信徒と、新たな見樹院の伽藍に集うコミュニティの人々とともに、そういう願いを世界に発信する「総本山」を築いていくことを願っています。

なお、入居者(住宅購入者)の一般募集に先駆け、見樹院関係者には優先的にご相談を受けています。ご関心のある方は、お気軽に住職または総代・世話人にお声掛け下さい。